

安全データシート (SDS)

アルミフィンクリーナー

1、製品および会社情報

製品名：アルミフィンクリーナー

用途：エアコンのフィン部分の洗浄

会社名：株式会社タナカクリーン商事

住所：〒593-8316 大阪府堺市西区山田2-25-1

電話番号：072-271-3662 (代表)

2、危険有害性の要約

物理化学的危険性		健康に対する有害性	
GHS分類	区分	GHS分類	区分
火薬類	分類対象外	急性毒性（経口）	区分外
可燃性／引火性ガス	分類対象外	急性毒性（経皮）	分類できない
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
支燃性／酸化性ガス類	分類対象外	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
高圧ガス	分類対象外	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	分類できない
引火性液体	区分外	皮膚腐食性／刺激性	区分 1
可燃性固体	分類対象外	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
自己反応性物質および混合物	分類できない	呼吸器感作性	分類できない
自然発火性液体	分類できない	皮膚感作性	分類できない
自然発火性固体	分類対象外	生殖細胞変異原性	分類できない
自己発熱性物質および混合物	分類できない	発がん性	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない	生殖毒性	分類できない
酸化性液体	分類できない	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 2（呼吸器系）
酸化性固体	分類対象外	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	分類できない
有機過酸化物	分類対象外	吸引力呼吸器有害性	分類できない
金属腐食性物質	分類できない		
		環境に対する有害性	
		GHS分類	区分
		水生環境有害性（急性）	分類できない
		水生環境有害性（慢性）	分類できない

■ GHSラベル要素

シンボル



■ 注意喚起語：危険

■危険有害性情報

：重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

：呼吸器系の障害のおそれ。

注意書き

■安全対策

- ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと
- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

■応急措置

- ・ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- ・ 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。

■保管

- ・ 施錠して保管すること。

■廃棄

- ・ 内容物、容器、廃液を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3、組成、成分情報

■単一物質・混合物の区別：混合物

化学式または一般名	化学式	官報整理番号	CAS-No	安衛法番号	含有量 (%)
水	H ₂ O			非該当	非開示
水酸化ナトリウム	NaOH	(1)-410	1310-73-2	319	5.0未満
水酸化カリウム	KOH	(1)-369	1310-58-3	316	5.0未満
有機キレート剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
ケイ酸塩	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示

4、応急措置

■吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断を受ける。

■皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。直ちに医師の診断を受ける。

■眼に入った場合：直ちに、多量の流水で 15 分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受ける。

■飲み込んだ場合：被災者に意識のある場合は水を飲ませ、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断を受ける。

意識のない場合は口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。直ちに医師の診断を受ける。

■ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

5、火災時の措置

消火剤：耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類、水。

特有の危険有害性：火災によって刺激性、腐食性または有毒ガスを発生することがある。加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消化方法：火元への燃焼源の遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されている時は移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去する。

消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6、漏出時

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。

回収・中和：不活性材料（乾燥砂または土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材：危険でなければ洩れを止める。

二次災害防止策：排水溝、下水溝、地下室あるいは密閉場所への流入を防ぐ。

7、取扱い及び保管上の注意

■取扱い

技術的対策：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱注意事項：①必ず水で所定の濃度（10～20倍）に希釈して使用すること。

②洗浄時には、液が皮膚や眼、口に付着しないように注意すること。

③他の洗剤類とは混合しないこと。

④屋内で使用する場合は換気に注意すること。

⑤用途以外には使用しないこと。

⑥白木やニス塗りの部分には使用しないこと。

⑦使用後は手洗いをよくすること。

接触回避：酸、酸化性化合物、アルミニウム（※）、銅、真ちゅう、亜鉛、すすおよびそれらの合金との接触を避ける

※アルミニウムは、標準使用濃度で使用する場合を除く。

■保管

アルミニウム、銅、真ちゅう、亜鉛、すすおよびそれらの合金などの金属製容器、飲料用PET容器には保管しない。

保管条件：強酸化剤から離し、容器を密閉する。直接日光、40℃以上の高温、凍結の恐れのある場所を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。

8、暴露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

水酸化ナトリウム、水酸化カリウム：日本産業衛生学会（2009年版）

最大許容濃度 $2\text{mg}/\text{m}^3$

設備対策：この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具 呼吸器の保護具：室内で長時間連続使用の場合は、防毒マスク（有機ガス用）を着用する。

眼の保護具：保護眼鏡を着用する

手指の保護具：ビニール手袋を着用する。

皮膚および身体の保護具：長時間に渡って多量に使用するときには不浸透性の作業衣を着用する。

9、物理的/科学的性質

色	淡黄色透明
形状	液体
PH	13以上（25℃）
粘度	データなし
比重	1.165±0.010（25℃）
溶解度	水に任意に溶解
臭い	データなし
凝固点	0℃
沸点	約100℃
引火点	データなし

10、安定性及び反応性

安定性：常温・常圧では安定。ただし、長時間の空气中暴露によって水分が蒸発し、変質する。（要密閉保管）

危険有害反応性：自己反応性はない。

酸、酸化性化合物と混合すると発熱する。

アルミニウム（※）、銅、真ちゅう、亜鉛、すずおよびそれらの合金と反応して可燃性の水素ガスを発生する。

避けるべき条件：混触危険物質との接触

混触危険物質：酸、酸化性化合物、アルミニウム（※）、銅、真ちゅう、亜鉛、すずおよびそれらの合金。

危険有害な分解生成物：情報なし

※アルミニウムは、標準使用濃度で使用する場合を除く。

11、有害性情報

急性毒性：経口：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 4,747mg / kg であるため区分外とした。

経皮：データ不足のため分類できない。

吸入：データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性：pHが 11.5 以上である成分を 1%以上含むため区分 1 とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：pHが 11.5 以上である成分を 1%以上含むため区分 1 とした。

呼吸器感作性：データ不足のため分類できない。

皮膚感作性：データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない。

発がん性：データ不足のため分類できない。

生殖毒性：データ不足のため分類できない。

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：区分 1（呼吸器系）の成分（水酸化ナトリウム、水酸化カリウム）を 1～10%含むため区分 2 とした。区分 2（神経系）のメタケイ酸ナトリウムを 1～10%含む。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない。

12、環境影響情報

水生環境有害性（急性）：データ不足のため分類できない。

水生環境有害性（慢性）：データ不足のため分類できない。

生態毒性：データなし

生態蓄積性：データなし

残留性・分解性：データなし

13、廃棄上の注意

残余廃棄物：産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物（廃アルカリ）として委託し処理すること。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

14、輸送上の注意

国際規制

国連分類（Class）：クラス 8

国連番号（UN No.）：3266

国内規制

陸上輸送：消防法、安衛法に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件：容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急措置指針番号：7 項の「取扱い及び保管上の注意」を参照

15、適用法令

国内適用法令

消防法：該当しない

労働安全衛生法：通知対象物質：(政令 第 316 号) (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
水酸化ナトリウム (319 号)、水酸化カリウム (316 号)

PRTR 法：該当しない

毒劇物取締り法：該当しない

船舶安全法：腐食性物質

航空法：腐食性物質

*危険性・有害性の情報は当社の最善の調査、評価にもとづいておりますが、必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取り扱いには細心の注意を払って下さい。本品の適正な使用についてはご使用者の責任において使用くださいますようお願いいたします。